

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	愛の木放課後等デイサービスuki		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	規定を守り、安全で適切な支援環境が整っている。	不要な刺激が入らない様な工夫をしている。	今後必要に応じて設備投資や代替手段の検討も行う。
2	多職種が連携し、それぞれの専門知識を活かして支援を行っている。	子どもの発達段階に応じた手段を工夫し、その時々に関わりを調整している。	今後も利用者の年齢や特性に合わせた、より多様な活動を取り入れ、個別のニーズに対応する。
3	保護者のニーズに対する迅速な対応が出来ている。	話しやすい雰囲気作りを意識し、保護者や子どもとの接し方に配慮している。	今後も継続して環境作り、雰囲気づくりをしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有を目的とした会話で、保護者が期待する時間が十分に取れず、コミュニケーションが制限されている。	保護者との交流や情報共有の時間が限られている。	お迎え時または定期的に、保護者とじっくり話せる時間を確保する。時間を事前に決める、事前情報を把握するなどの工夫も行う。
2	活動報告や日常の様子の報告が保護者と共有されるタイミングが限られている。	特性に応じた柔軟な対応が必要であり、子どもたちそれぞれに合った活動の設計が求められている。	活動報告や日常の様子を迅速かつ定期的に提供できる方法を検討する。
3	利用者一人ひとりにもっと密接に関わる時間が足りない。	特に平日は時間が限られている。	限られた時間を有効に活用し、子どもたち一人ひとりに対する支援の質を高める工夫を行う。職員のスキルアップも併せて行っていく。